

令和5年度 千葉県立野田中央高等学校 シラバス

教科	理科	科目	理科研究	単位数	2	クラス	3年1,3～8組
教科書	改訂 新編化学基礎(東京書籍) 改訂 新編生物基礎(東京書籍)		副教材等				

1 学習の到達目標等

自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識を持って観察・実験などを行い、科学的に探求する能力と態度を育てるとともに自然への理解を深め、科学的な自然観を育成する。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	初めに	実験器具の名称・ 使用法	・実験器具の名称を覚え、その使用法を理解する。	
5	身の回りの物質	混合物の分離と 精製	・赤ワインの蒸留 ・実験レポート作成	・授業・実験実習 への取り組み、レ ポート提出、考査 等による総合的評 価
6		有機化合物	・有機化合物とは何か ・有機化合物の性質 ・有機化学実験 ・実験レポート作成	
7	一学期末考査			
9	気象と環境	気象現象	・気象現象について	・授業・実験実習 への取り組み、レ ポート提出、考査 等による総合的評 価
10		環境問題	・環境問題や異常気象について ・課題レポート作成	
11	人工知能と 私たちの未来	人工知能	・人工知能について ・人工知能と人間の関わり ・課題レポート作成	
12	二学期末考査			

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
1	課題研究		・研究課題についてレポートを作成	・授業・実験実習への取り組み、レポート提出、審査等による総合的評価
2				
3				

3 評価の観点

関心・意欲・態度	自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
観察・実験の技能	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
知識・理解	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・実験の技能、知識・理解の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

確かな学力を身につけるためのアドバイス
特に身近な化学物質、微生物について学びます。興味・関心をもって授業に参加してください。また、生物準備室や図書室には関連した図書が備えられています。これらを活用し学習を独自に深めていただきたいと思います。
授業を受けるに当たって守って欲しい事項
必要に応じ、授業内容に即したプリントを配布します。また、各自でノートを作成してください。実験実習を行う際には、全員が積極的に参加し、記録をとるようにしてください。調べ学習では表面的なものにとどまらず、深く調べてください。